

「県民の健康に尽力」

松岡良明賞受賞
倉敷中央病院 岡山で祝賀会

がん撲滅に尽力したを、賞の創設以降、病
個人、団体を顕彰する院として初めて受賞し
山陽新聞社会事業団のた倉敷中央病院（倉敷
「第20回松岡良明賞」市美和）の祝賀会が1
日、岡山市内のホテル

で開かれた。

医療関係者ら約110人が出席。祝辞で同
事業団の松田正己理事
長は「患者本位で治療
を続けたことが受賞に
つながった。今後も地
域に信頼される総合病
院を目指してほしい」と語った。同病院の運
営母体である大原記念
倉敷中央医
療機構の大
原謙一郎理
事長、小笠
原敬三院長
は「これか
らも県民の
健康維持に
尽力してい
く」と謝辞
を述べた。

療の中心的役割を担う
「がん診療連携拠点病
院」の一つで2013
年には肺、胃、大腸、
前立腺がんの手術数が
中四国トップ。年間3
万8千人の健診を行
い、がんの早期発見に
も努める。

同賞は山陽新聞社の
元社長、故松岡良明氏
の遺族から寄託された
基金で創設。がん征圧
月間（9月）に贈呈し
ている。（難波孝光）



岡山市内で開かれた倉敷中央病院
の松岡良明賞受賞祝賀会

域のがん診
病院は、地
倉敷中央

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。